

令和6年度 外郭団体 概要・評価シート

1. 基本情報

団体名	一般財団法人 静岡市環境公社			所管課	ごみ減量推進課				
所在地	静岡市葵区産女953番地		代表者	理事長 殿岡 智	設立年月日				
基本財産	3,000千円	市出資額 (基本財産等に占める割合)		3,000千円 (100%)					
設立根拠	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律								
設立目的	静岡市及び関係諸団体との協働・連携に基づき環境事業を行うことにより、地域における環境施策の推進と環境保全を図り、もって良好な環境を形成し、市民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的とする。								
業務内容	①一般廃棄物収集運搬及び産業廃棄物の収集運搬 ②し尿くみ取り、浄化槽保守点検・清掃 ③指定管理業務等環境意識の啓発 ④廃棄物処理事業、環境保全に関する事業及び放置自転車収集運搬事業 ⑤災害時等の行政機関への協力								

2 経営計画書の取組状況

(1) 取組実績

(令和6年度)

	施策名称	評価指標	目標値	実績	備考
家庭ごみの収集運搬事業 (関係課：収集業務課・ごみ減量推進課)	家庭ごみ収集運搬業務の確実な実施	37,572t	36,640t	ごみ量2%減 (対前年度比)	
	大規模災害を想定した収集運搬体制の構築	実施	実施	達成	
	主要取組名称	事業概要			備考
	家庭ごみ収集運搬業務	家庭から排出される可燃ごみ及び不燃粗大ごみを収集運搬する。			
1	団体意見	【目標の達成状況とその要因】 ①必要な人員配置、収集運搬車両及び資機材等を配備し、確実に実施した。 ②災害時や緊急時においても即座に出動できるよう適宜、収集運搬体制の見直しを行った。 【取組における課題】 ①現行の正規職員24名及び臨時職員39名の体制から構成比率を適正に改善していく必要がある。 ②家庭ごみ収集運搬に従事する職員の内、65歳以上の職員が約6割を占めているため、構成年齢の引き下げが急務な課題である。 【課題に対し市に求める事】 ①市のパートナーとして継続的に事業を担うこと、また災害時にも安定した収集体制を維持するためには人員確保は必須であり、正規職員と臨時職員の割合や年齢などバランスのとれた職員構成が必要と考えている。そのため、市においては課題を共有し、改善に向けたご指導をお願いしたい。			
	関係課意見	【収集業務課】 駿河区の可燃ごみ及び西ヶ谷収集センター区域の不燃・粗大ごみ収集運搬業務について安定した収集業務を実施できている。 【ごみ減量推進課】 業務継続計画の策定・隨時見直しにより、大規模災害等に備えた体制確保ができている。			

	施策名称	評価指標	目標値	実績	備考		
公共施設の廃棄物等の収集運搬事業 (関係課：廃棄物処理課・下水道施設課)	廃棄物処理施設等から発生する廃棄物等の収集運搬の実施 下水道処理施設から発生する沈砂・し渣等の収集運搬の実施	実施 190.3t	実施 265.7t	達成 沈砂・し渣量40%増(対前年度比)			
主要取組名称	事業概要			備考			
公共施設の産業・一般廃棄物収集運搬事業	廃棄物処理施設など公共施設から排出される一般廃棄物等を収集運搬する。						
高松・城北センター沈砂等収集運搬	下水処理施設の沈砂・し渣を収集運搬する。						
2	団体意見	<p>【目標の達成状況とその要因】 廃棄物処理施設等から排出される一般廃棄物等や高松・城北浄化センターの沈砂・し渣を搬出する専用車両等を配備し確実に収集運搬した。</p> <p>【取組における課題】 静岡市内に使用できる専用車両が老朽化（昭和38年初年度登録）しており、車両の更新に2年を要する。</p> <p>【課題に対し市に求めること】 専用車両の更新が不可欠であるため、今後継続して業務を担うためには、収集運搬方法等を含めご指導いただきたい。</p>					
	関係課意見	<p>【下水道施設課】 天蓋付き車両を使用するなど施設周辺の環境に配慮しているうえ、当課の要望に沿った配車ができている。</p> <p>【廃棄物処理課】 市職員と連携を密にとり、発生する廃棄物の収集運搬を安定的かつ確実に実施している。</p>					

	施策名称	評価指標	目標値	実績	備考		
4R・環境保全事業 (関係課：ごみ減量推進課・GX推進課・環境共生課)	一人1日当たりのごみ総排出量の減少 資源循環啓発施設の利用者満足度 海岸一斉清掃及び環境アドプトプログラムへの参加 放置自転車移送業務の確実な実施	863g 95%以上 4活動 2,544台	841g 99.42% 4活動 2,164台	実績値は令和5年度 沼上プラザ98.8% 西ヶ谷プラザ99.5% 達成 移送台数15%減(対前年度比)			
主要取組名称	事業概要			備考			
資源循環啓発施設運営業務	資源循環啓発施設を運営し、各種環境学習・体験講座を実施することで、市民への環境意識の醸成を図る。						
各種環境アドプトプログラム等への参加	海岸一斉清掃及び市の「河川、自然、森林環境アドプトプログラム事業」に参加し、環境保全活動に取り組む。						
放置自転車移送業務	放置禁止区域で放置された自転車等を撤去し、保管施設へ移送する。						
3	団体意見	<p>【目標の達成状況とその要因】 ①一人1日当たりのごみ総排出量が令和5年度と比較して減少した。 ②沼上学习プラザでは、4R啓発や自然環境への意識を高めるための講座をはじめ、小学校やこども園等と連携した環境学習講座（出前講座の実施等）や小学校4年生を対象としたごみ減量啓発講座の開催により、利用者から目標値を超える満足度が得られた。 また、西ヶ谷体験プラザでは、リサイクル材料を活用した吹きガラス等のものづくり体験、温泉施設でのサーマルリサイクルの体験、子ども服のリユースマーケット、しづもーる祭りの環境啓発イベントなどから、4Rの体験、実践を通じて環境意識の醸成を図り、利用者から目標値を超える満足度が得られた。 ③海岸一斉清掃及び市の「河川、自然、森林環境アドプトプログラム事業」に参画し、環境保全活動に積極的に取り組んだ。 ④放置自転車移送業務に関して必要な人員及び収集運搬車両を配備し確実に実施した。</p> <p>【取組における課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 資源循環啓発施設の利用者拡大に向け、市民が安心して利用できる施設であることのPRや、市民が興味を抱く講座・イベントの開催が必要である。 指定管理制度が1年延長となり、次期の業務等が見通せない中、人員確保が難しい状況となっている。 <p>【課題に対し市に求めること】</p> <ol style="list-style-type: none"> 資源循環啓発施設の利用者拡大に向けて、施設の認知度アップや講座・イベント開催の広報活動について、市の事業などにおいても引き続き積極的にお願いしたい。 次期の指定管理の方針を早急に検討していただきたい。 					
	関係課意見	<p>【ごみ減量推進課】 4R啓発のためのイベント企画や活動を行った他、利用者目線の運営改善を行い、目標値を超える利用者からの高い満足度に結びついている。</p> <p>【GX推進課】 当該団体が実施する、毎年静岡市森林環境アドプト事業への寄附は、市内の森林整備事業、間伐材を活用した積み木の作成及びこども園への配布事業に寄与し、市域内の二酸化炭素排出削減に貢献している。</p> <p>【環境共生課】 河川環境アドプトプログラムは概ね四半期に1回、自然環境アドプトプログラムについても年に2回活動を行っており、河川環境や自然環境の保全及び河川環境に対する市民の意識向上に貢献している。</p>					

	施策名称	評価指標	目標値	実績	備考		
し尿くみ取り事業 (関係課 : 廃棄物対策課・ごみ減量推進課)	し尿くみ取り業務の確実な実施	453世帯	437世帯	世帯数4%減 (対前年度比)			
	大規模災害を想定した業務体制の構築	実施	実施	達成			
主要取組名称	事業概要			備考			
し尿くみ取り業務	一般家庭及び仮設トイレなどのくみ取り						
4 団体意見	<p>【目標の達成状況とその要因】</p> <p>①静岡市指定区域内の家庭トイレのし尿汲み取りを確実に実施した。 ②イベントや建設・建築工事に伴う仮設トイレのし尿汲み取りを1,161件実施した。 ③大規模災害に備え、避難所の位置の確認や職員間の連絡体制などについて見直しを行った。</p> <p>【取組における課題】</p> <p>①し尿くみ取り世帯は令和4年度の540世帯から令和6年度には440世帯に減少している中、これまでどおり市民の要請に応じ安定したサービスを提供するためには、業務に精通した人員の確保及び育成が課題である。 ②大規模災害時における避難所の仮設トイレ等の汲み取り業務について、必要な人員、車両及び燃料の確保が課題である。</p> <p>【課題に対し市に求めること】</p> <p>汲み取り件数の増加が見込めないことから、今後、継続して業務を担うためには、汲み取り世帯の情報や課題を共有し、今後に向けご指導をお願いしたい。</p>						
	<p>【関係課意見】</p> <p>【廃棄物対策課】 区域内におけるし尿くみ取りを確実に実施しており、市民へ安定的なサービスの提供ができている。</p> <p>【ごみ減量推進課】 業務継続計画の策定・随時見直しにより、適切な運営体制が確保されている。</p>						

	施策名称	評価指標	目標値	実績	備考		
浄化槽維持管理事業 (関係課 : 廃棄物対策課・農地整備課)	浄化槽の維持管理の確実な実施	11,392件	11,300件	維持管理件数1%減 (対前年度比)			
	浄化槽の維持管理業務に必要な資格者等の確保	3人	4人	達成			
	浄化槽の維持管理業務に必要な研修への参加者数	12人	7人	未達成			
主要取組名称	事業概要			備考			
浄化槽維持管理・清掃業務	一般家庭、共同住宅、事業所などの浄化槽維持管理・清掃						
5 団体意見	<p>【目標の達成状況とその要因】</p> <p>①公共下水道への切り替えが完了していない地域の単独管理及び小型合併浄化槽などの保守点検（3,150件を年3～4回の延べ約11,000件）を実施した。 ②浄化槽清掃業務を2,897件実施した。 ③法令に基づく必要な資格については、取得計画により新規に4名の職員が取得した。</p> <p>【取組における課題】</p> <p>今後も公共下水道への切替により、浄化槽維持管理件数の減少が見込まれるが、既存の3,150件については法令に基づく適正な維持管理が必要である。 人件費等の高騰に伴い、浄化槽保守点検及び清掃業務等の料金改定が必要である。（令和7年10月料金改定）</p> <p>【課題に対し市に求めること】</p> <p>特になし</p>						
	<p>【関係課意見】</p> <p>【廃棄物対策課】 職員の資格取得を計画的に進めており、安定した浄化槽維持管理事業が実施できている。</p> <p>【農地整備課】 富厚里地区農業集落排水処理施設の維持管理業務を適正に実施している。</p>						

	施策名称	評価指標	目標値	実績	備考
市廃棄物処理施設運転管理等事業 (関係課：廃棄物処理課)	運転管理等の確実な実施	実施	実施	達成	
	運転業務に必要な資格者等の確保	3人	4人	達成	
	運転業務に必要な研修への参加者数	2人	3人	達成	
6	主要取組名称	事業概要			備考
	静岡衛生センター維持管理業務	静岡衛生センターの維持管理を行う。			
	沼上最終処分場維持管理業務	最終処分場の維持管理を行う。			
	団体意見	<p>【目標の達成状況とその要因】 市施設の運転管理に精通した人材を配置し、運搬車両及び資機材等を配備し、適正かつ確実に実施した。 各施設の運転管理に必要な資格者の確保については、取得計画に基づき、新規に3名の職員が資格を取得した。 運転管理業務に必要となる講習への参加及び職場内研修によるスキルの向上に努めた。</p> <p>【取組における課題】 市職員（再雇用者）から公社プロパー職員への確実な技術継承及び職員の育成に努めている。また技術を継承できる職員の確保が課題である。</p> <p>【市に求めるここと】 令和8年度新たな最終処分場の供用開始に伴う業務内容や人員体制の見直しが必要になる場合、早急にご指導願いたい。</p>			
6	関係課意見	<p>【廃棄物処理課】 市職員との連携を密にとりながら施設の適正な運転管理を実施し、継続して安定的な維持管理業務ができている。</p>			

(2) 施策や取組実施に係る現状分析・課題

環境事業を継続していくため、公社の果たすべき役割としての課題点は、

- ①正規職員と臨時職員との割合や年齢など、バランスのとれた職員構成が必要である。
- ②老朽化した処理施設や収集運搬車両等の更新又は修繕を計画的に実施していく必要がある。
- ③業務遂行のための専門的な資格取得や研修・講習会等を受講し、計画的かつ積極的に人材育成していく必要がある。

(3) 分析結果や課題を踏まえた対応方針

- ①市と協力して可燃ごみ、不燃・粗大ごみ等の減量に取り組む。
- ②新規事業等（廃プラや最終処分場）への受託を見据え、職員の割合や年齢などバランスのとれた職員構成を目指す。
- ③廃棄物処理施設を管理する市と連携し、更新又は修繕により施設や車両等の長寿命化を図る。
- ④業務遂行にあたり必要な資格の取得や専門的な技能・経験を継承する。

3 団体の財務・人員の状況

(1) 収支状況（千円）

区分		R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	備 考
収入	事業収入	1,034,930	1,162,610	1,202,060	
	事業外収入	200	441	2,122	
	その他	0	0	0	
	合 計	1,035,130	1,163,051	1,204,182	
(委託・補助等静岡市からの収入総額)					
支出	事業支出	1,034,930	1,104,372	1,145,949	
	事業外支出	200	390	712	
	その他	0	71	5,913	
	合 計	1,035,130	1,104,833	1,152,574	
収支差		0	58,218	51,608	

(2) 資産の状況（千円）

区分		R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	備 考
資産	固定資産	500,752	491,214	509,679	
	流動資産	429,148	494,554	515,877	
	合 計	929,900	985,768	1,025,556	
負債	固定負債	196,212	190,439	192,545	
	流動負債	132,816	136,239	122,314	
	合 計	329,028	326,678	314,859	
正味財産	基本財産／資本金	3,000	3,000	3,000	
	剰余金等	597,872	656,089	707,697	
	合 計	600,872	659,089	710,697	

(3) 役員・職員の状況

ア 役員数（人）(R7. 4. 1)

	評議員		理事	
	内市退職者・派遣	内市退職者・派遣	内市退職者・派遣	内市退職者・派遣
常勤	0	0	2	2
非常勤	7	1	4	2
合計	7	1	6	4

イ 職員数

	正規職員	非正規職員	市退職者・市派遣	合計	増減員理由等
R5	56	96	39	191	
R6	62	89	36	187	
R7	72	93	37	202	

※4月1日時点

(4) 財政・人員体制の現状分析・課題

- (収支) 収支に関しては、歳出抑制や受託料の増額等でプラスとなった。
(財産・資産) 財産・資産に関してもプラスとなった。
(人員体制) 人員の配置における人数は適正と考えられるが、正規職員と臨時職員との割合や年齢など、バランスのとれた職員構成とスキルを持った職員の育成が課題である。

(5) 分析結果や課題を踏まえた団体における財政・人員体制の見通しと今後の取組

- ここ数年は収支、財産・資産がプラスではあるが、継続して物品等の歳出削減に取り組み、エコアクション21を活用して光熱水費の削減に取り組んでいく。
- 各受託事業について、物価高騰により経費がかさんでいる背景から、適正な受託料の確保に努める。
- 人員体制については、労務職の採用により徐々に正規職員と臨時職員との割合や年齢など、バランスのとれた職員構成にしていく。

4 全体総括・評価

外郭団体

- 各業務について、必要な人員配置、車両及び資機材等を配備し、確実に実施でき、資格取得や研修を受講することが計画的にできた。
- 人員確保のため、雇用制度を見直し、新たに労務職（正規職員）の採用を創設した。
- 収支・財産・資産に関してもプラスとなったが、継続して物品等の歳出削減や光熱水費の削減に取り組んでいく。

静岡市

各事業において、経営計画書の目標はおおむね達成されていると評価する。

5 市への要望・意見（外郭団体記載）

- 各事業における業務内容を踏まえ、知識や経験を有する市退職者を再雇用し、必要な人材を確保しているため、今後も再雇用先として、当公社の紹介をお願いしたい。
- 家庭可燃ごみ収集運搬業務において、従事する職員の内、臨時職員の割合が約60.3%となっていることから、令和6年度から新たな労務職（正規職員）雇用制度を創設したが、人員の確保は継続した問題となっています。市においては、課題を共有し、改善に向けたご指導と適正な委託費の確保をお願いしたい。

6 外郭団体への要望・意見（所管課記載）

各事業において本市との連携を密にするとともに、職員の年齢構成などの課題解決に引き続き努め、今後は、指定管理施設の運営等に依らない4R、環境保全活動を強化する取組を求めていきたい。